

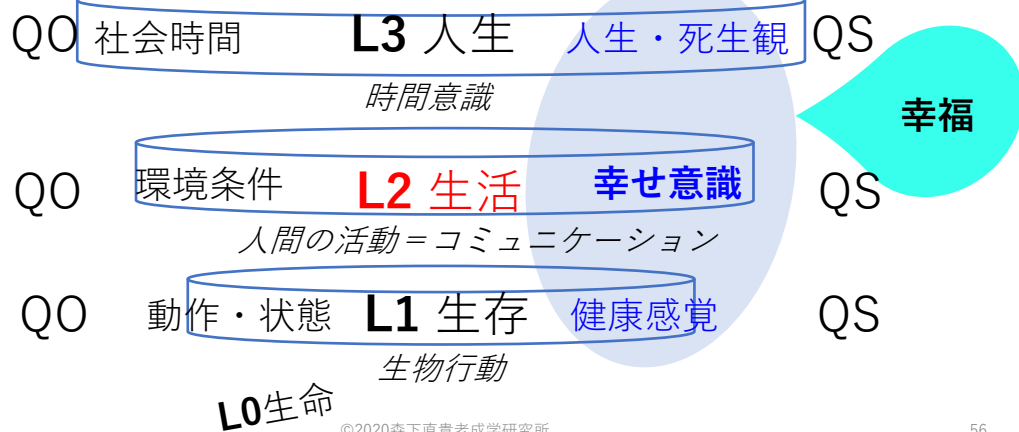
内容

- 両側並行モデル
- 四次元相関の論理
- 意味世界の構成
- 方法の構図
- **応用例の紹介**
- 疑問への応答

応用例① 尺度/指標の欠落指摘

QOL概念の一般的枠組み

[Objective客観的指標] <個人/国民> [Subjective主観的指標]



2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

56

EQ-5D-5L (EuroQol Group,2009)

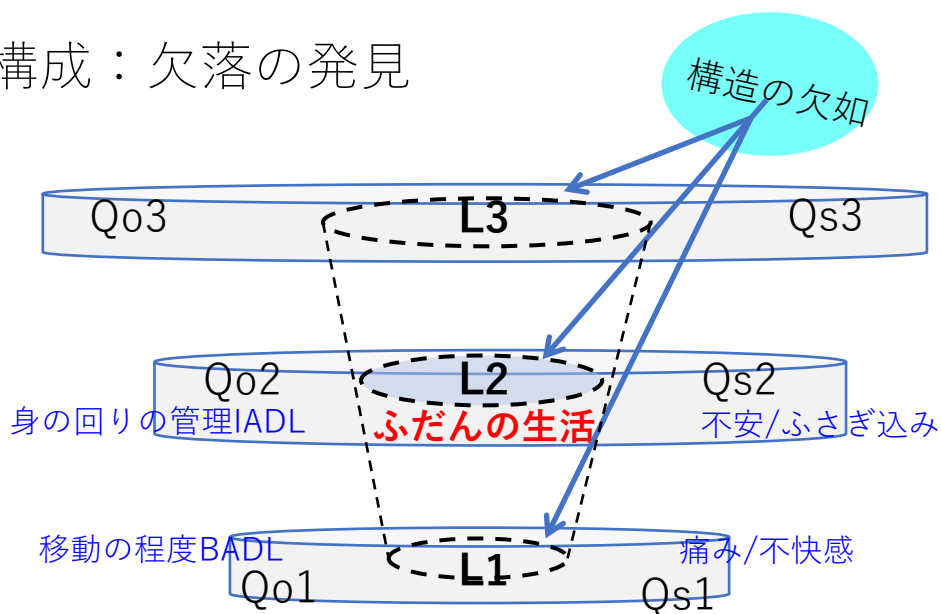
- 移動の程度：歩き回る . . . L1Qo
- 身の回りの管理：身体洗淨、着脱 . . . L2Qo
- **ふだんの活動**
仕事、勉強、家族・余暇活動 . . . L2
- 痛み/不快感 . . . L1Qs
- 不安/ふさぎ込み . . . L2Qs

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

57

再構成：欠落の発見



2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

58

応用例② 尺度/指標の意味づけ

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

59

前野隆司『幸せのメカニズム』

- 幸福への影響要因
→心理的要因のみ
- 四つのスーパー因子群
 - ①やってみよう！因子
 - ②なんとかなる！因子
 - ③ありがとう！因子
 - ④あなたらしく！因子
 →それぞれ4項目に区分
- 幸せのクラスター分析

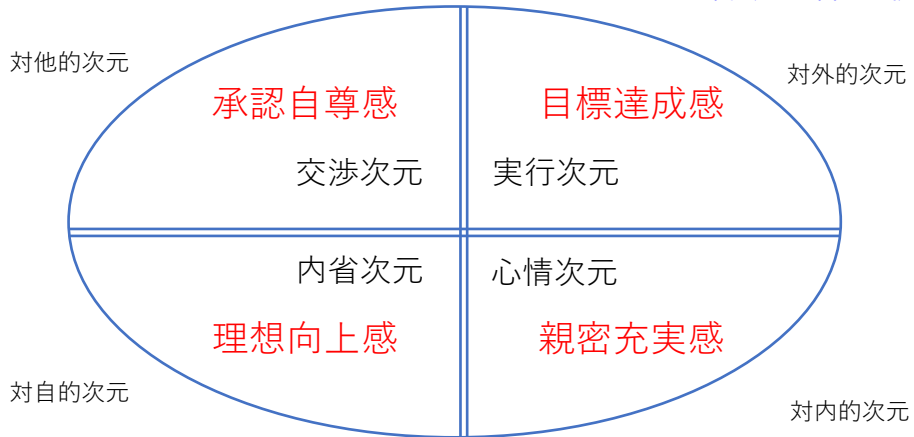


因子群の細目

- ①やってみよう因子：
コンピテンス（私的有能）、個人的成長、
社会的要請、自己実現
- ②ありがとう因子：
親切、愛情を感じる、人を喜ばせる、感謝
- ③なんとかなる因子：
楽観性、気持ちの切り替え、
積極的な他者関係、自己受容
- ④あなたらしく因子
社会的比較なさ、制約の知覚のなさ、
自己概念の明確さ、最大効果の追求なさ

幸せ意識(感)の四次元

アリストテレスからベンサムまで
一定の活動に伴う快感

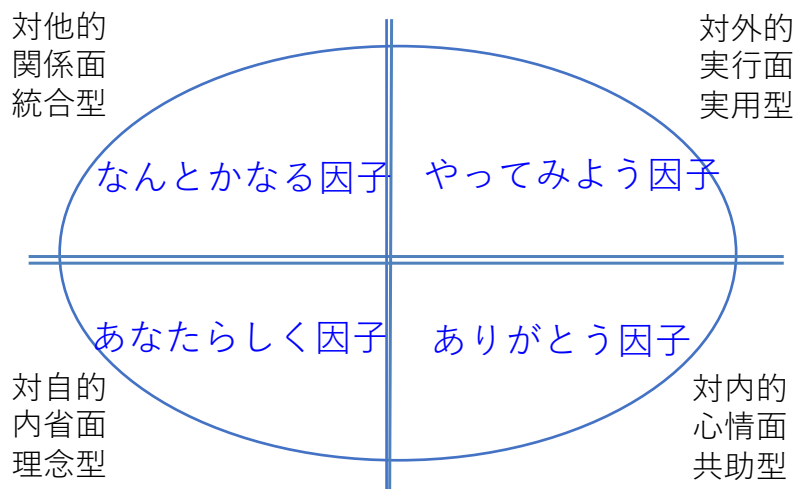


2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

62

再構成：個体全体

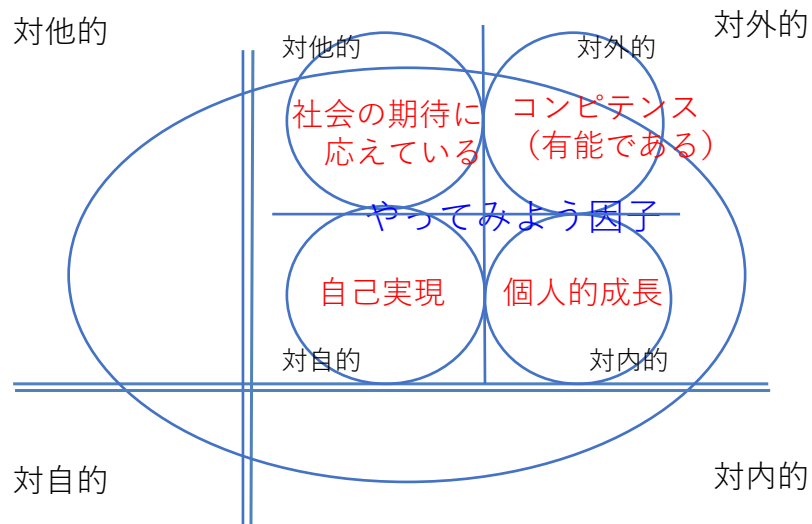


2020/9/13

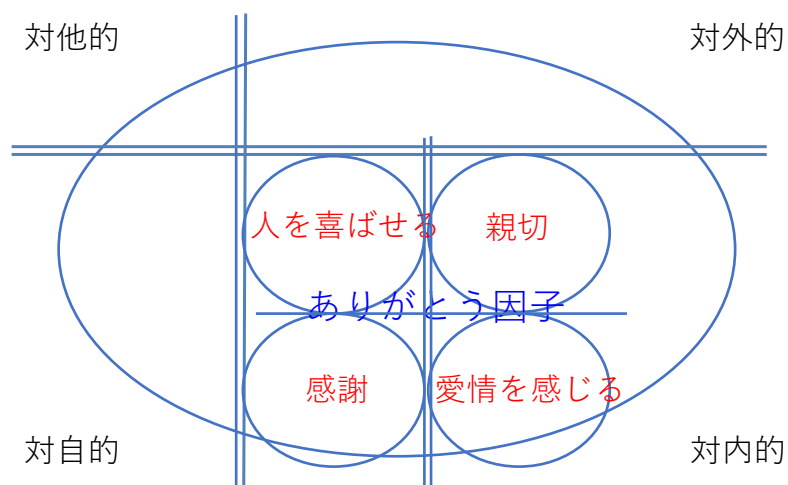
©2020森下直貴老成学研究所

63

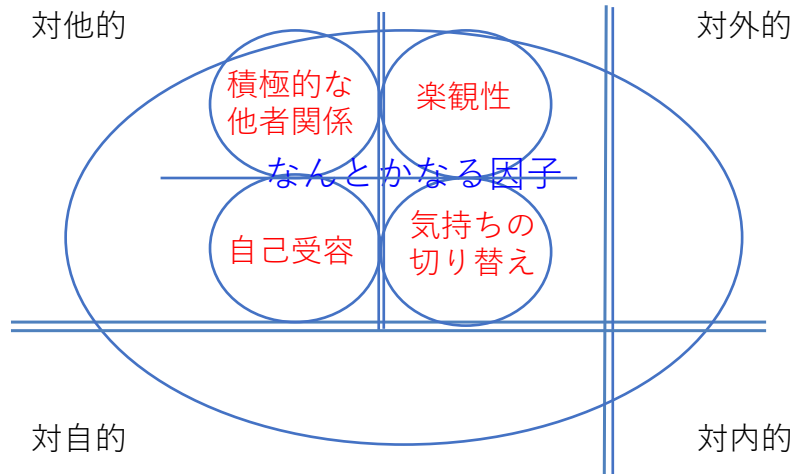
再構成：対外的次元



再構成：対内的次元



再構成：対他的次元

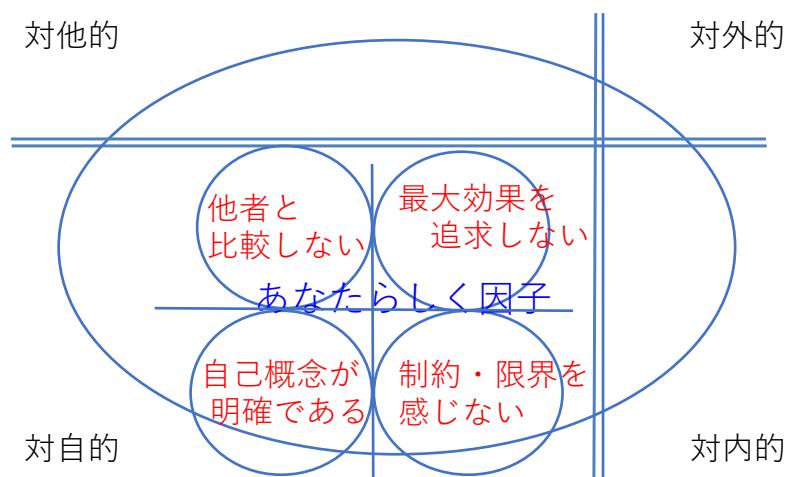


2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

66

再構成：対自的次元



2020/9/13

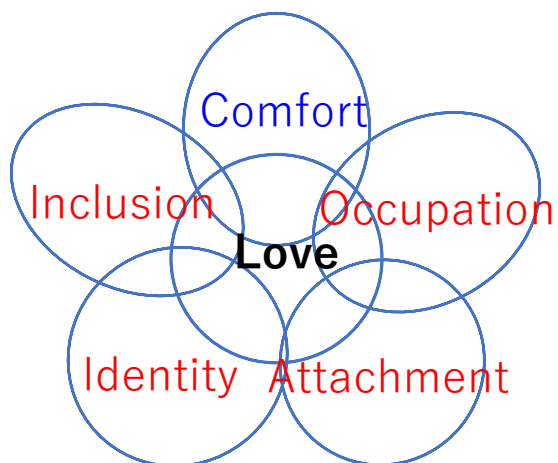
©2020森下直貴老成学研究所

67

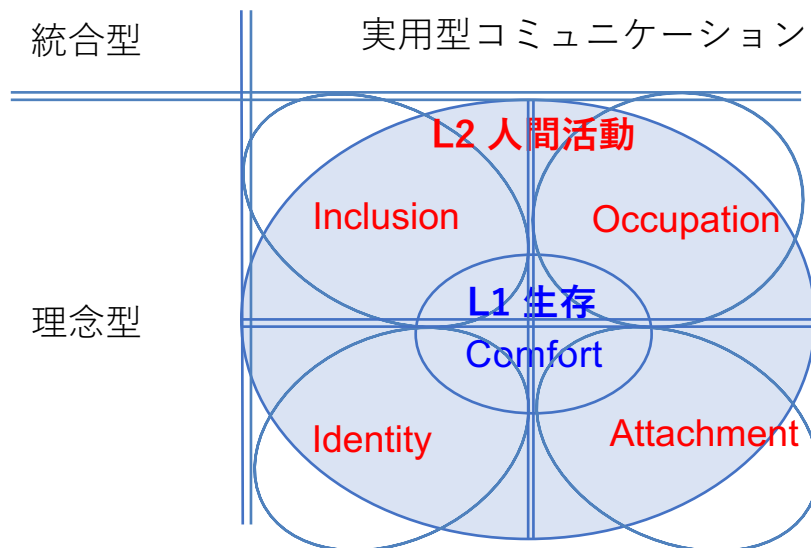
応用例③ 尺度/指標の修正

愛の五枚の花びら Five flower petals of love

T. Kitwood,
Dementia reconsidered,1997



共助型コミュニケーション=愛



2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

70

個人の価値を低める/高める17行為 (1)

- 1 騙す Treachery/誠実に対応する
- 2 できることをさせない Disempowerment/能力を発揮させる
- 3 子供扱いする Infantilization/尊重する
- 4 脅かす Intimidation/思いやり(優しさ・温かさ)を示す
- 5 レッテルを貼る Labeling/受け入れる
- 6 汚名を着せる Stigmatization/個性を認める
- 7 急がせる Outpacing/リラックスさせる
- 8 主観的現実を認めない Invalidation/共感を持って分かろうとする
- 9 仲間外れにする Banishment/一員として感じさせる

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

71

個人の価値を低める/高める17行為 (2)

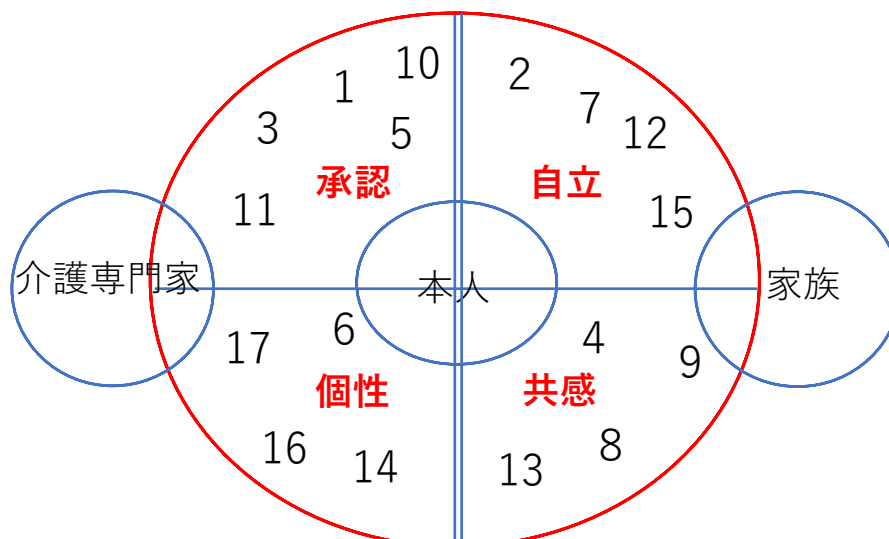
- 10 もの扱いするObjectification/共に行う
- 11 無視するIgnoring/一緒にいるように感じさせる
- 12 無理強いするImposition/必要とさせる (支援させる)
- 13 放っておくWithholding/包み込む (安らぎを与える)
- 14 非難するAccusation/尊重する
- 15 中断するDisruption/関わりを継続できるようにする
- 16 からかうMockery/一緒に楽しむ
- 17 軽蔑するDisparagement/尊び合う

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

72

再構成



2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

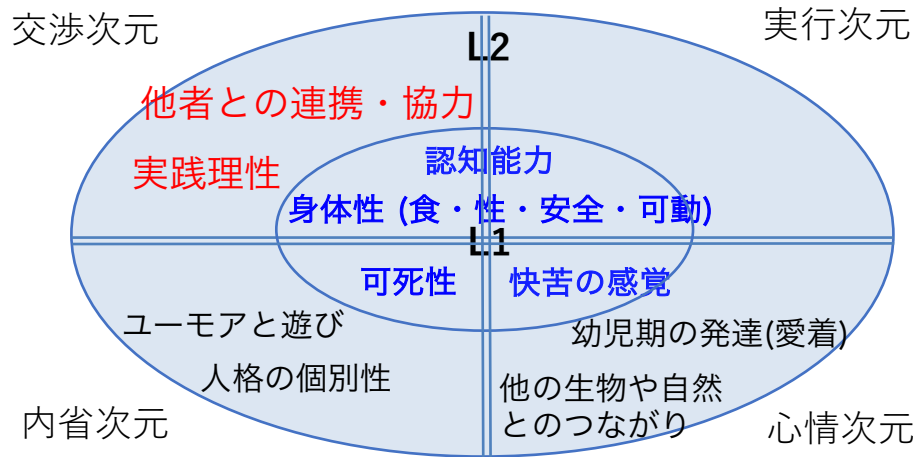
73

応用例④ 尺度/指標の特徴づけ

M.ヌスバウムの人間活動説

- 人間存在を構成する事実
 - 人間の生活形式のスコープ
 - 人間の第一次的な生き方→第二次的な善い生き方
- 10項目：
 - 可死性、身体性(食・性・安全・可動)
 - 快苦の感覚、認知能力
 - 乳幼児期の発達(愛着)、実践理性
 - 他者との連携・協力
 - 他の生物や自然とのつながり
 - ユーモアと遊び、人格の別個性
- 文化横断的に経験から抽出

再構成



応用例⑤ 尺度法の提案

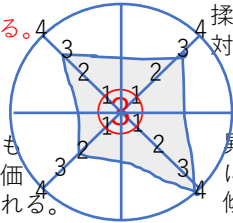
幸せ意識尺度

いずれか1つを○で
囲んでください。

4 大いにそう思う。
3 どちらかといえばそう思
う。
2 どちらかというそう思わない。 1 全くそうは思わない。

周囲から
頼りに
されている。

他人との
揉め事にも
対処できる。

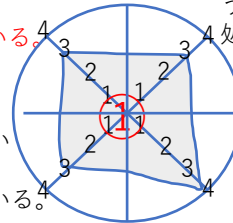


不本意でも
他人の評価
を受け入れる。

異なる意見
にも耳を
傾ける。

周囲の
期待に
応えている。

ものごとを
うまく
処理できる。

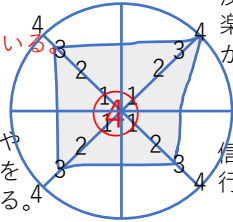


なりたい
自分に
なれている。

日々、努力
している。

何事にも
知的関心
を持っている。

没頭できる
楽しみごと
がある。

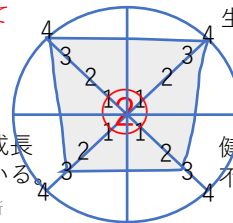


感謝の念や
生きがいを
持っている。

信念を持って
行動できる。

周囲から
愛されて
いる。

安心して
生活できる。



日々、成長
できている。

健康に
不安はない。

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

78

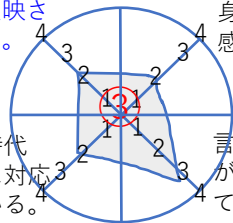
生活満足度尺度

いずれか1つを○で
囲んでください。

4 大いにそう思う。
3 どちらかといえばそう思
う。
2 どちらかというそう思わない。 1 全くそうは思わない。

自分の意見が
政治に反映さ
れている。

行政を
身近に
感じている。

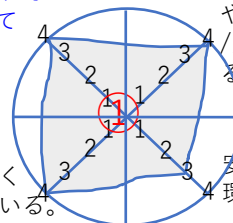


制度が時代
の変化に対応
できている。

言論の自由
が保障され
ている。

社会を基本的
に信用して
いる。

安定した職
や仕事がある
/見込まれ
る。

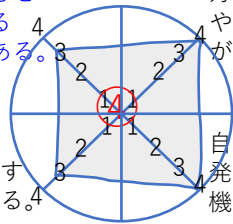


生活は
不自由なく
安定している。

安全で便利な
環境がある。

知的関心を
刺激する
環境がある。

好きなことを
やれる時間
がある。

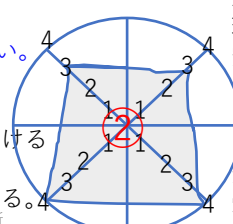


自分を
見つめ直す
時間がある。

自分の個性を
発揮する
機会がある。

子育てや
老後の
心配がない。

生活する
環境が
安心できる。



教育を受ける
環境が
整っている。

医療を
安心して
受けられる。

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

79

応用例⑥ 複雑な事象の分類

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

80

平成26年経済センサス基礎調査 産業分類一覧（総務省統計局）

A 農業、林業

B 漁業・水産養殖業

C 鉱業、採石業、砂利採取業

D 建設業：土木、大工、設備工事

E 製造業：

食品、飲料・飼料、繊維工業、木製品、家具・装備、パルプ・紙、印刷関連、化学工業、石油・石炭製品、プラスチック、ゴム、革、窯業・土石、鉄鋼、非鉄金属、金属製品、汎用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具、電子部品・デバイス。電子回路製造、電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品、輸送用機械、精密機械、その他（貴金属・宝石、装飾品、時計、楽器、玩具、事務用品、漆器、畳等、その他）

F 電気・ガス・熱供給・水道業

G 情報通信業：

通信業、放送業、映像・音声・文字情報制作業（新聞、出版、広告）、情報サービス：ソフトウェア、インターネット付随サービス

H 運輸業、郵便業

I 卸売業、小売業

J 金融業、保険業

K 不動産業、物品賃貸業

L 学術研究、専門・技術サービス業、各分野研究所、法律等事務所、デザイン、著述・芸術家、経営コンサルタント、興信所、広告業、獣医、土木建築サービス業（設計、測量）、機械設計、商品検査、測量証明業、写真業など

M 宿泊業、飲食サービス業

N 生活関連サービス業、娯楽業

洗濯・理容・美容・浴場、旅行業、冠婚操作業

O 教育、学習支援業

P 医療、福祉：

医療業、保健衛生、社会保険・社会福祉・介護事業

Q 複合サービス：郵便局、協同組合

R サービス業：

・政治・経済・文化団体等

・宗教

・廃棄物処理業・自動車整備・機械等整備

・職業紹介・労働者派遣業

・その他の事業サービス：

速記等、建物サービス、警備

・その他のサービス：集会場、屠畜

S 公務：

国家公務（立法、司法、行政）、地方公務

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

81

業種（業界）一覧

立法公務 政治団体	行政公務 (国家・地方)	銀行・保険業 不動産業 経営コンサルタント	運輸業 郵便業 卸売業 小売業	農林漁業 建設業 製造業
司法公務 法律等事務所	放送業 出版・広告業 批評業	飲食・宿泊業 生活関連サービス業 主婦業	電気・ガス等業 情報通信業 技術サービス業 技術開発研究	
学術研究 哲学	娯楽・遊戯業	介護業 育児支援業 子育て支援業	社会福祉業	
宗教 人生相談	スポーツ 芸術	教育 学習支援業	医療業 看護 保健衛生	

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

82

応用例⑦ 適切な表現の提案

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

83

SWLS (人生満足度尺度)

E. Diener and others, 1985

1. ほとんどの面で私の人生は私の理想に近い。
2. 私の人生はとても素晴らしい状態である。
3. 私は自分の人生に満足している。
4. 私はこれまで自分の人生に求める大切なものを得てきた。
5. もう一度人生をやり直すとしてもほとんど何も変えないだろう。

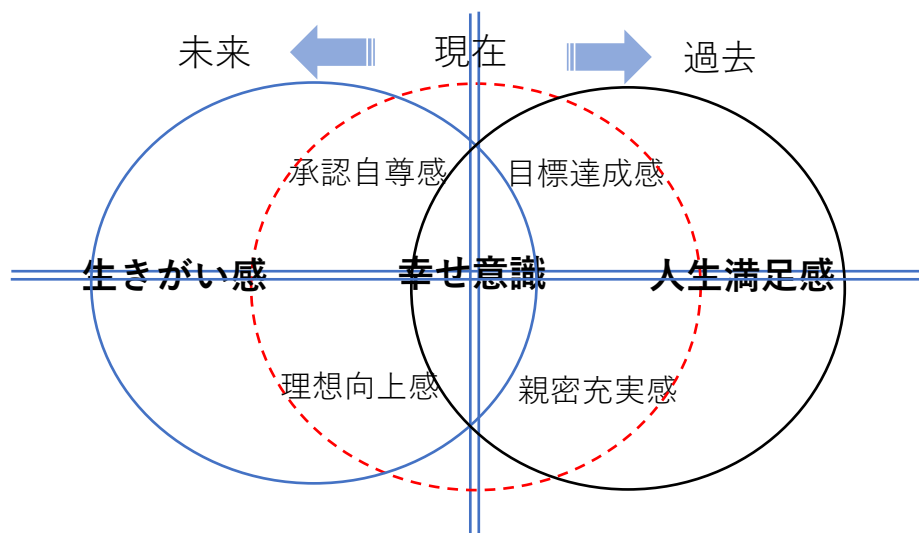


2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

84

幸せ意識・生きがい感・人生満足感

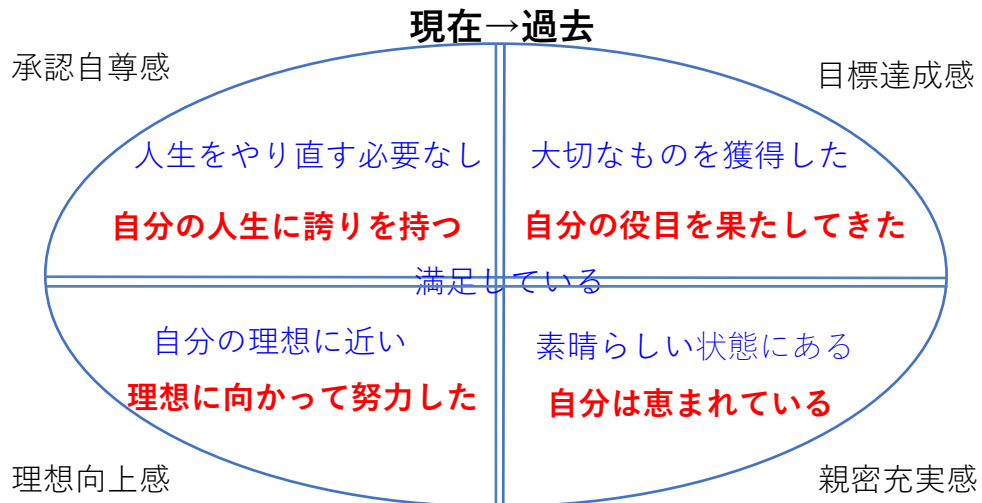


2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

85

SWLSの再構成



2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

86

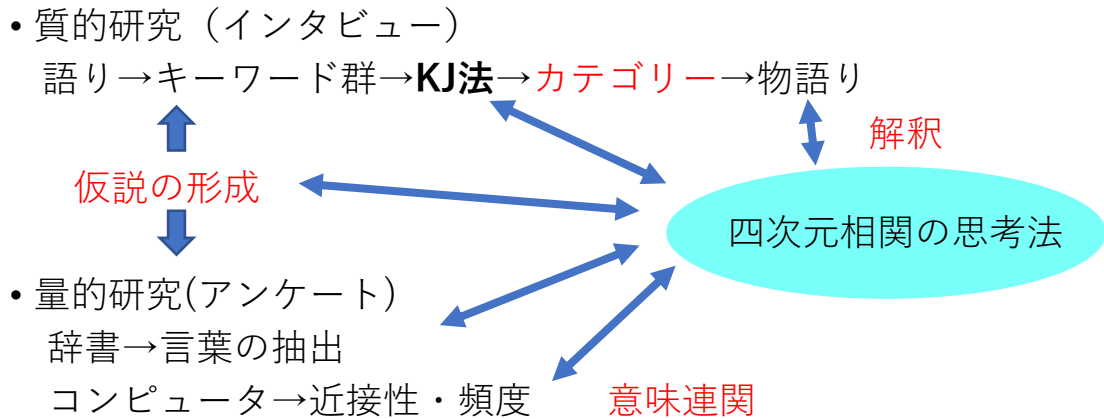
応用例⑧ カテゴリーの発見整理

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

87

研究の方法



2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

88

内容

- 両側並行モデル
- 四次元相関の論理
- 意味世界の構成
- 方法の構図
- 応用例の紹介
- **疑問への応答**

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

89

四次元相関の思考法

人間の意味世界の原理 = 意味づけの枠組み

対立する特定の立場

四次元セットの偏り = 一次元の特定類型
→ 四次元のバランス → 自己変容の気づき



禅仏教・鈴木大拙の**即非**の論理

分節化と同時に絶対非分節

「山は山」 ⇔ 「山は山にあらず」



2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

90

疑問点① なぜ「四」か？

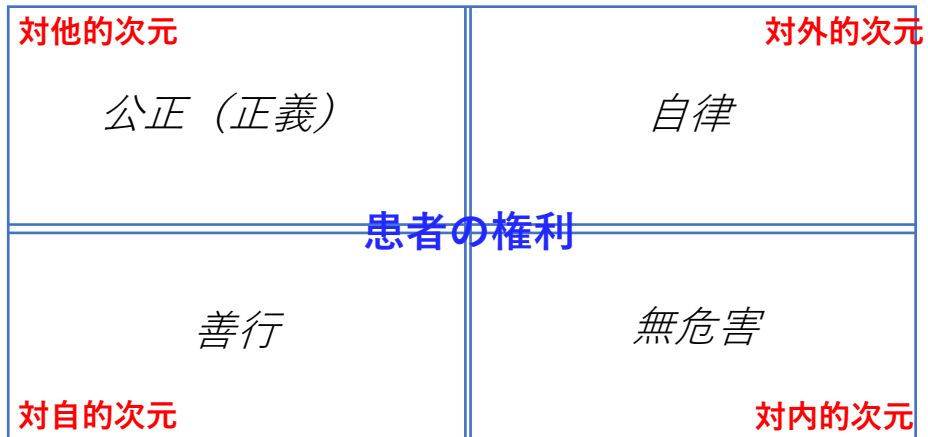
- ・ **カントのカテゴリーの四区分** → 思考
四(量、質、関係、様相) × 三
ただし、三(時間規定)は本来は四ではないか？
例えば、様相：可能性、蓋然性、現実性、必然性
- ・ **ウェーバーの社会的行為の四類型** → 行為
目的合理的、心情的、伝統(慣習)的、価値合理的
- ・ **バイオエシックスの四原理** → 理念
自律(自己決定)、無危害、公正(正義)、善行

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

91

バイオエシックスの四原則

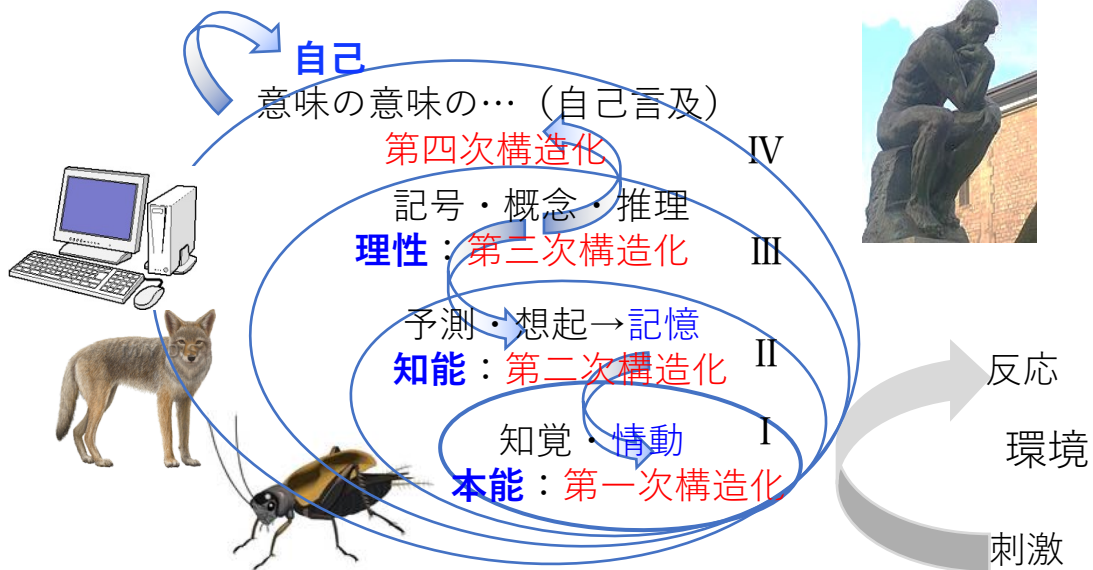


2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

92

人：構造化の四次元統合



2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

93

四次元相関の基盤

・コミュニケーションの複雑化→進化

- 環境（獲物/天敵、ライバル/つがい）との関係
→身体・**情動**のコミュニケーション→①
- 集団の拡大・緊密化
→想像・**象徴**のコミュニケーション→②
- 集団の階層・統合化
→**記号**のコミュニケーション→③
- 集団からの疎外
→**自己言及**のコミュニケーション→④



象徴シンボル



宗教との関係

疑問点② 構造化は静止パターン？

- 構造：静止パターン、数学の構造＝不変の関係
- 構造化：コミュニケーションのプロセスの論理
- 構造化の中核の変容→再構造化→システムの変容

疑問点③ 四の固定性・柔軟性？

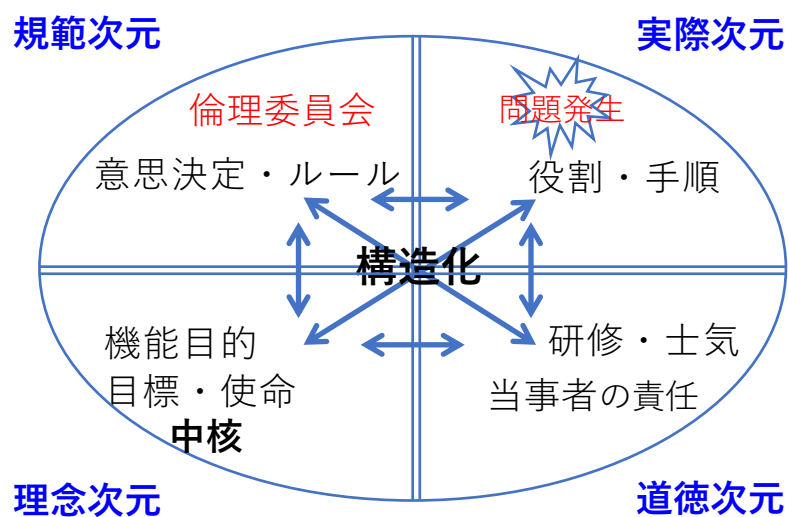
- 四が基本型だが、三や五を排除しない。
- 四区分の名称は文脈・分野・時代・場面に応じて多様→組織
- 区分をまたがる場合→看護システム
- あくまで事象や問題に応じて分類する際のガイド

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

96

組織の四次元



2020/9/13

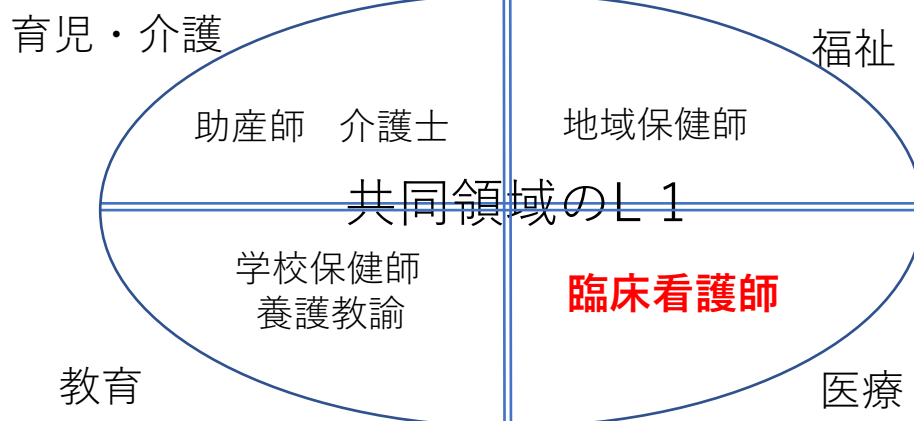
©2020森下直貴老成学研究所

97

看護システムはスーパーシステム

nursery ←nutrire (授乳、世話、栄養)

L2
ソーシャルワーカー



2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

98

疑問点④ 自然環境や身体はどこに？

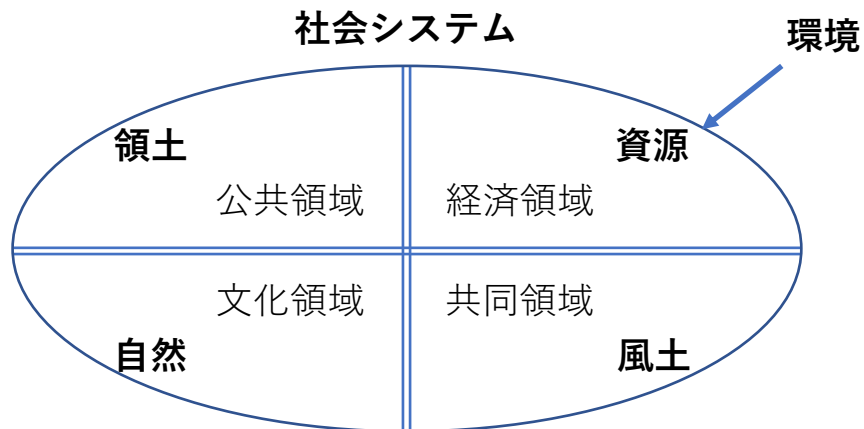
- システム／環境の差異が根本
システムにとっての外部・土台・担い手
- システムは環境の情報・エネルギー・物質を変換
意味としては独自の内部宇宙を構成
- 「自然」「身体」「環境」「物質」は内部の意味
想定外はシステムにとって不可避

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

99

システムにとっての環境 = 意味



2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

100

疑問点⑤ コミュニケーションシステム？

- つながり = コミュニケーション、つながり合い = システム。
なぜあえて馴染みのない用語を使うのか？
- デジタル化 → 人間中心の見方が成り立たない。デジタルコミュニケーションを包括し、その中に人間のコミュニケーションを位置づける。
- コミュニケーションシステムによって、人間の意味世界(心から社会・歴史・理念まで)が統一的に捉えられ、とくに構造化によって多次元の倫理の包括的な見方が可能。

2020/9/13

©2020森下直貴老成学研究所

101

倫理/道徳の包括的な枠組み

コミュニケーションシステム (倫)

構造化 (理)



- | | | |
|-------------------|-------|----------|
| ・心の自己内対話 | | ・信念 |
| ・対人関係 | | ・信頼・世間常 |
| ・社会 (機能) システム | | ・機能目的 |
| ・社会集団 | | ・慣例・決まり事 |
| 機能包括：家族、地域、国民国家 | | |
| 特定機能：企業、病院、裁判所、学会 | | |
| ・全体社会・時代 | | ・文明・伝統 |
| ・理念・思想 | | ・価値 |

ご視聴ありがとうございました。